



## 平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファステップス

コード番号 2338 URL <http://www.fasteps.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 川嶋 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 村山 雅経

TEL 03-5360-8998

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	4,347	61.6	96	—	101	—	33	—
24年2月期第3四半期	2,690	△3.0	△115	—	△99	—	△101	—

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 63百万円 (—%) 24年2月期第3四半期 △93百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	1,189.55	—
24年2月期第3四半期	△3,558.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	3,404	1,591	30.5
24年2月期	3,257	1,530	30.8

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 1,037百万円 24年2月期 1,004百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	43.5	130	—	140	—	65	—	2,285.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	28,825 株	24年2月期	28,825 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	384 株	24年2月期	384 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	28,441 株	24年2月期3Q	28,441 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興関連事業などへの需要が堅調にあり緩やかに回復しつつあるものの、長期化している欧州の財政金融危機や新興国の景気減速などの影響から、依然として先行き不透明なまま推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、全社をあげて黒字転換へむけた積極的な営業活動、事業展開に注力し、システムソリューション事業、メディアソリューション事業、コストマネジメント事業の3事業ともに増収増益を果たしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高4,347百万円（前年同期比61.6%増）、営業利益96百万円（前年同期は115百万円の営業損失）となりました。経常損益につきましては、為替差損7百万円を計上いたしましたが受取利息を19百万円計上したことにより、経常利益は101百万円（前年同期は99百万円の経常損失）、四半期純利益は33百万円（前年同期は101百万円の四半期純損失）となりました。

事業区分別の売上高は、以下のとおりであります。

#### (システムソリューション事業)

当事業におきましては、引き続き学習者支援のための問題集アプリケーションの開発に注力し、多種多様なジャンルの問題集アプリケーションを販売してまいりました。受託開発におきましても堅調に推移しております。

その結果、売上高は300百万円（前年同期比7.2%増）、売上構成比は6.9%となりました。

#### (メディアソリューション事業)

当事業におきましては、昨年の東日本大震災の影響により受注が減少しておりましたが、当期は改善傾向にあり、売上は回復しております。また社内において営業体制を整備し、営業展開を強化しております。

その結果、売上高は3,702百万円（前年同期比53.6%増）、売上構成比は85.2%となりました。

#### (コストマネジメント事業)

当事業におきましては、DMの代行発送や企業活動の物流を一括して担うサード・パーティー・ロジスティクス※など、物流業務のあらゆる分野において、実績あるコンサルティング力で、ニーズに添ったサービス提供を行ってまいりました。近年のインターネット通販の普及に牽引される需要の増加によって、売上は堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は344百万円、売上構成比は7.9%となりました。

#### ※サード・パーティー・ロジスティクス（3PL）

企業の流通機能全般を一括して請け負うアウトソーシングサービス。自身は物流業務を手がけない企業が、顧客の配送・在庫管理などの業務を、プランニングやシステム構築などを含め長期間一括して請け負い、外部の物流業者などを使って業務を遂行する。物流業者に業務を委託するのとは違い、3PLは「荷主の物流部門」として振舞うため、複数の物流業者から最も荷主の利益にかなう業者を選択したり、荷主側の要望を物流業者と交渉したりといったことが可能となる。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて532百万円増加し、2,659百万円となりました。これは、主に現金及び預金が157百万円、受取手形及び売掛金が374百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ385百万円減少し、745百万円となりました。これは、主に長期貸付金が286百万円、営業保証金が100百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて146百万円増加し、3,404百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、1,460百万円となりました。これは、買掛金が83百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3百万円減少し、352百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が48百万円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて61百万円増加し、1,591百万円となりました。これは、利益剰余金が33百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月13日に公表いたしました内容を修正しております。詳細につきましては、平成25年1月11日付で公表いたしました「業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,196,609	1,354,173
受取手形及び売掛金	591,689	966,519
仕掛品	4,264	10,626
繰延税金資産	7,233	7,371
その他	354,611	353,550
貸倒引当金	△26,851	△32,533
流動資産合計	2,127,556	2,659,708
固定資産		
有形固定資産	4,371	5,099
無形固定資産		
のれん	53,327	43,884
その他	50,226	55,222
無形固定資産合計	103,553	99,107
投資その他の資産		
投資有価証券	45,626	47,229
長期貸付金	660,112	373,141
営業保証金	250,300	150,300
その他	107,157	107,637
貸倒引当金	△40,933	△37,493
投資その他の資産合計	1,022,262	640,814
固定資産合計	1,130,187	745,021
資産合計	3,257,744	3,404,730
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	325,993	409,982
短期借入金	907,305	750,000
未払法人税等	13,579	46,188
賞与引当金	—	12,582
その他	124,610	241,732
流動負債合計	1,371,489	1,460,486
固定負債		
退職給付引当金	11,550	12,505
役員退職慰労引当金	338,864	290,063
その他	5,443	50,227
固定負債合計	355,857	352,795
負債合計	1,727,347	1,813,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,800	983,800
資本剰余金	774,915	774,915
利益剰余金	△691,272	△657,441
自己株式	△58,994	△58,994
株主資本合計	1,008,448	1,042,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,760	△4,327
その他の包括利益累計額合計	△3,760	△4,327
少数株主持分	525,709	553,495
純資産合計	1,530,397	1,591,447
負債純資産合計	3,257,744	3,404,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	2,690,589	4,347,326
売上原価	2,339,017	3,784,467
売上総利益	351,572	562,859
販売費及び一般管理費	466,930	466,058
営業利益又は営業損失(△)	△115,357	96,800
営業外収益		
受取利息	26,296	19,358
受取配当金	1,153	1,704
その他	14,498	14,824
営業外収益合計	41,948	35,888
営業外費用		
支払利息	8,742	9,154
為替差損	12,755	7,958
支払手数料	—	9,822
その他	4,710	4,467
営業外費用合計	26,208	31,402
経常利益又は経常損失(△)	△99,618	101,286
特別利益		
投資有価証券売却益	1,899	—
保険解約返戻金	25,521	—
特別利益合計	27,420	—
特別損失		
固定資産除却損	5	245
投資有価証券売却損	—	779
特別損失合計	5	1,025
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△72,202	100,260
法人税、住民税及び事業税	8,621	41,852
法人税等調整額	10,686	△3,755
法人税等合計	19,308	38,097
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91,510	62,163
少数株主利益	9,706	28,331
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△101,217	33,831



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△91,510	62,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,079	1,113
その他の包括利益合計	△2,079	1,113
四半期包括利益	△93,590	63,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102,278	34,399
少数株主に係る四半期包括利益	8,687	28,876

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	システムソ リューション 事業	メディアソ リューション 事業	コストマネ ジメント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	280,225	2,410,364	—	2,690,589	—	2,690,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	280,225	2,410,364	—	2,690,589	—	2,690,589
セグメント利益又は損失(△)	22,153	△63,081	△623	△41,551	△73,806	△115,357

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△73,806千円は、各報告セグメントに配分していない  
全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っており  
ます。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	システムソ リューション 事業	メディアソ リューション 事業	コストマネ ジメント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	300,440	3,702,528	344,358	4,347,326	—	4,347,326
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	300,440	3,702,528	344,358	4,347,326	—	4,347,326
セグメント利益	51,818	73,598	29,283	154,700	△57,899	96,800

(注) 1. セグメント利益の調整額△57,899千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主  
に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。